

講習の名称	【選択】教授学習活動における教授者と学習者のあり方に関する検討
講習の概要	過去に実施された授業の授業記録をとったり、ディスカッションなど実習的な要素を含めながら、特に学習者と教授者の活動や言動に焦点をあてることを通して、授業のあり方について検討する。また授業記録の意義・機能・意味などに関する考察を主として参加者自身が行うことによって、授業評価についても検討する。
担当講師	廣田 信一（地域教育文化学部担当教授）
講習開設日	平成 30 年 8 月 1 日
開設時間	8:50～16:10
開催地	山形県山形市
会場・教室	地域教育文化学部 3 号館 3 階 331 講義室
対象職種	教諭
主な受講対象者	小学校教諭
受講予定人数	19 人
受講者への連絡事項 (持ち物等)	ビデオを見たり、記録をとったりするので、それに対応できる準備をしてください。授業を記録するという点に関しては、購入義務はありませんが、参考書として1. 授業の研究 堀川小学校 明治図書 1959, 2. エピソード記述入門 鯨岡 峻 東京大学出版会 2005などを読んでおくにより理解しやすいかと思います。
評価基準	全時間出席し、提出物をすべて提出すること。最終課題が60点以上であること
評価の観点	講習内容を理解し、説明（記述）ができる
その他特記事項	